

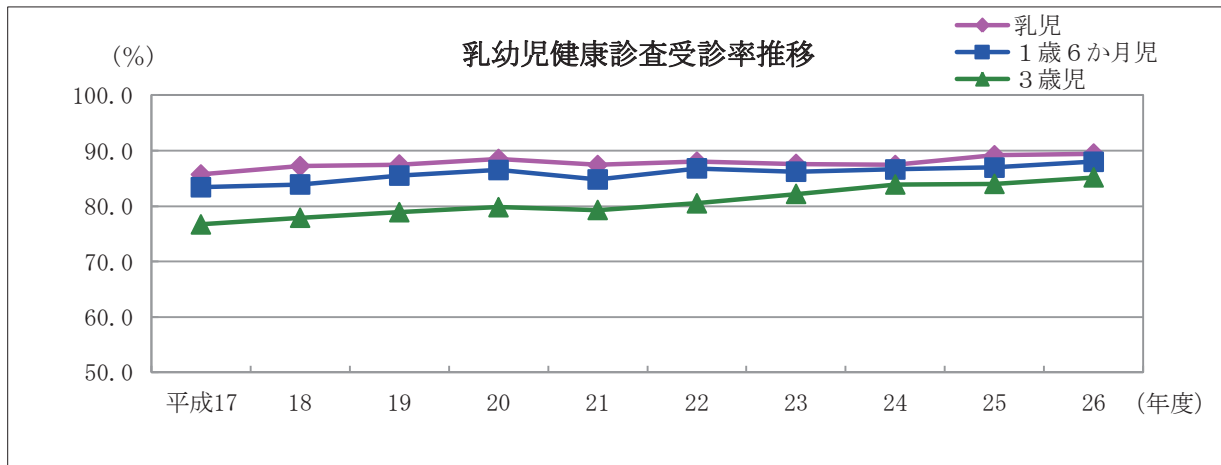
平成26年度乳幼児健康診査から

この報告書は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までに実施された県内40市町村の乳児、1歳6か月児、3歳児の健康診査結果を乳幼児の健康と育児環境等について、市町村別に集計した。

平成26年度健康診査をまとめるにあたり、妊娠中の経過・お産のとき・お産のときの児の異常・生まれたとき・既往歴・予防接種実施状況・3歳児の出生順位とむし歯について新たに集計した。

(1) 一般健康診査の受診状況について

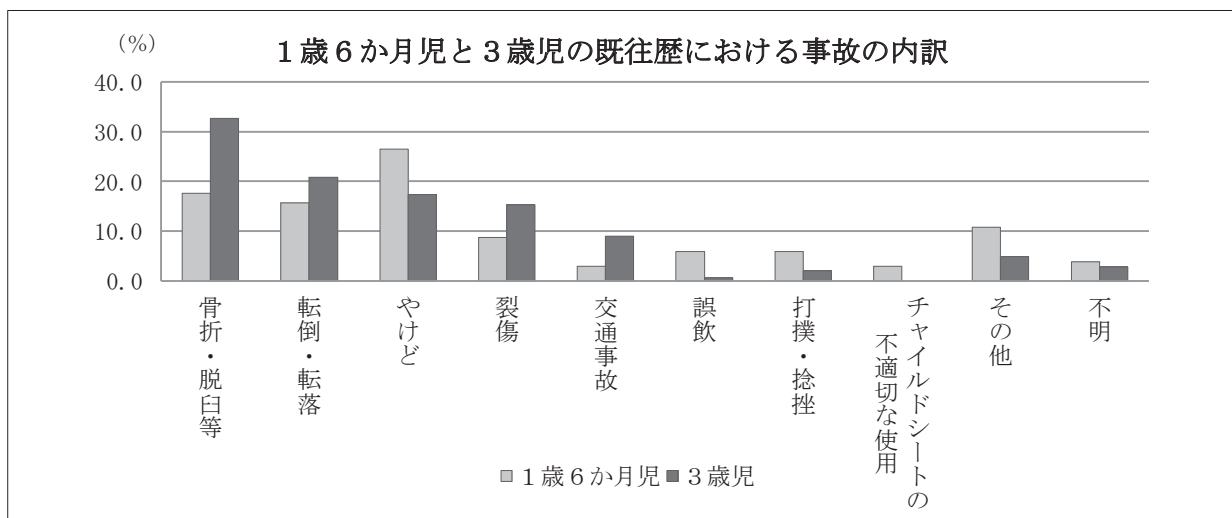
全市町村とも健康診査の対象者数は、健診連絡者数としている。それを基に平成26年度の各々の受診率を算出すると、乳児は89.5%、1歳6か月児は88.0%、3歳児は85.2%となっており、昨年度に比べ全体的に増加している。



(2) 1歳6か月児と3歳児の既往歴における事故の内訳

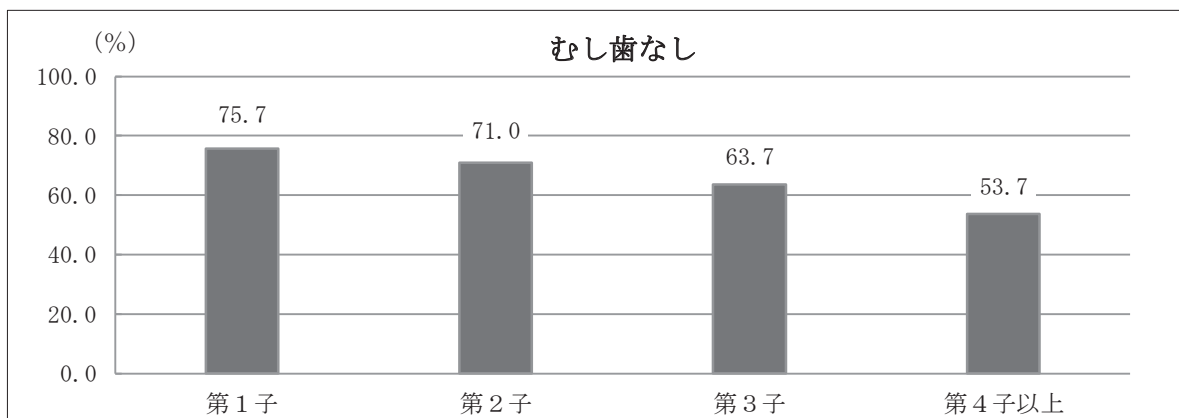
既往歴における事故の内訳について集計した結果、1歳6か月児では、やけどが26.5%、3歳児では骨折・脱臼等が32.6%となっている。

※1歳6か月児と3歳児の既往歴の詳細については、ワンポイント (P243、339) を参照。

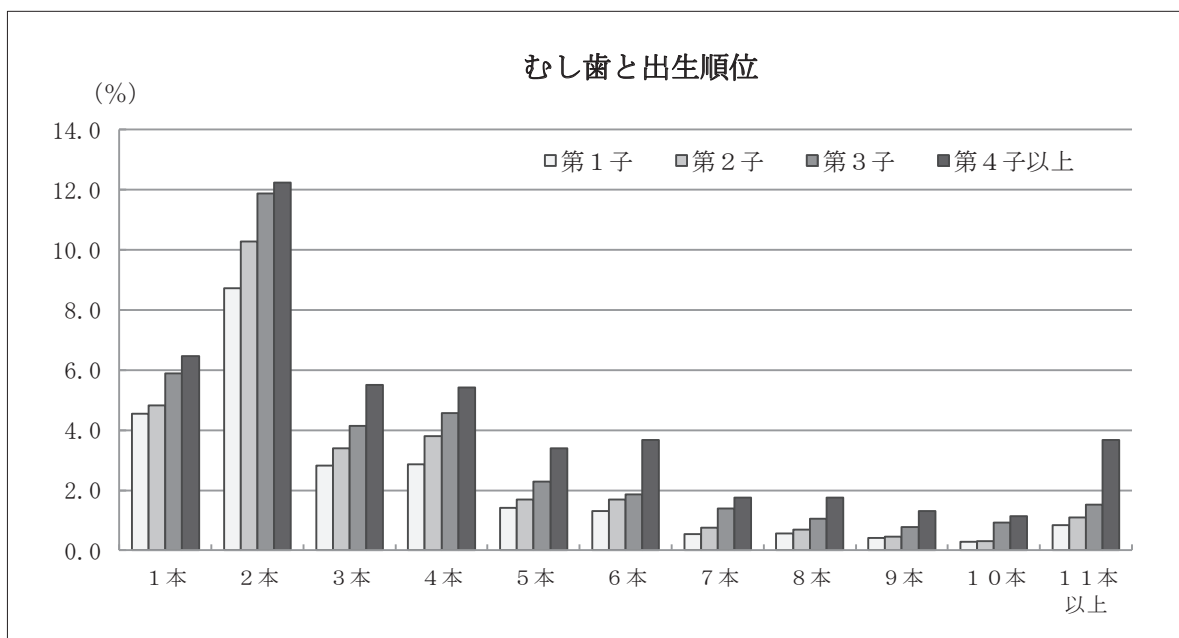


(3) 3歳児の出生順位とむし歯について

3歳児の出生順位が小さい程むし歯なしの割合が高くなっている。

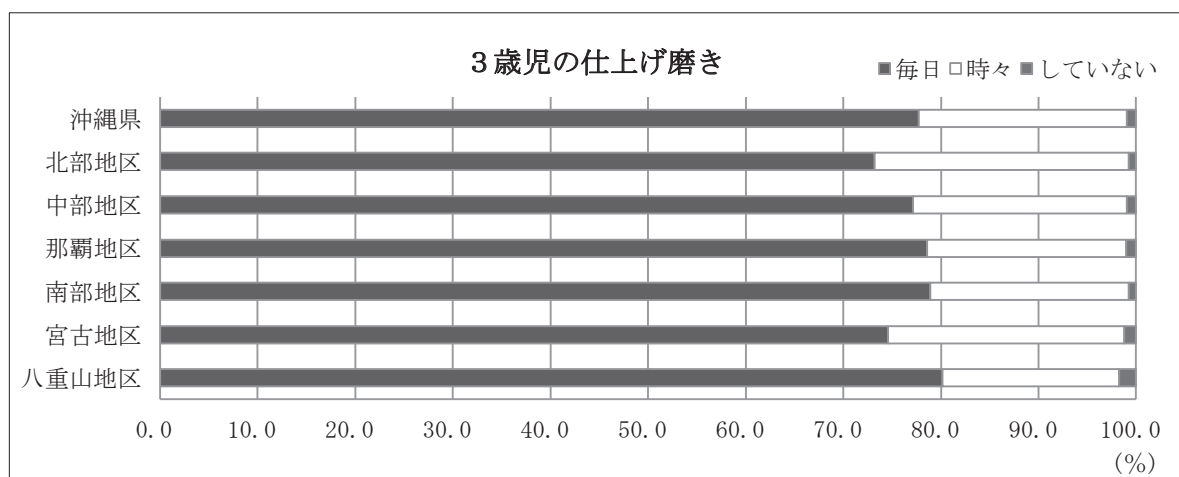


むし歯の本数でみると2本が一番多く、出生順位が小さい程むし歯の割合も低い。



(4) 3歳児の仕上げ磨きについて

3歳児の保護者による仕上げ磨きについて、地区別に違いがみられる。



平成26年度の健康診査結果一部を紹介したが、詳細は各健診の項目を参照してください。